

戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 春季大会

26年 4月 29日 時刻9:30

女子 【決勝リーグ】

東香里	51	[9-8 15-8 8-14 14-8]	35	中木田
-----	----	---	-----------------------------	---	----	-----

第1PD

東香里(白)④⑤⑦⑧⑨、中木田(黒)④⑤⑥⑦⑧でスタート。

開始直後、両チーム固さが見え、ターンオーバーが続くが、中木田の粘り強いディフェンスや、サイズが無いながらもオフェンスリバウンドに積極的にからみ、⑤のゴール下で中木田先制し、なかなかリズムのつかめない東香里の⑨から⑧へのバックドアが決まり、リズムをつかみ、終了間際、東香里⑩の3Pで9-8 逆転で1PDを終える。

第2PD

東香里(白)④⑤⑦⑧⑩、中木田(黒)④⑤⑥⑦⑧でスタート。

開始直後、中木田⑥のスティールから速攻で決めるが、東香里も徐々に固さがとれ、足が動き、ディフェンスが機能しだす。オフェンスでも⑧④がハイローや、インサイドで確実に点を積み重ね、たまた中木田が残り3分でタイムアウトをとるが、タイムアウト後、東香里がオールコートプレスをかけ、中木田を翻弄し、24-16で東香里リードで終える。

第3PD

東香里(白)④⑤⑦⑧⑨、中木田(黒)⑤⑥⑦⑧⑨でスタート。

両チームとも初めはハーフコートでディフェンスするが、中木田に第1PDほどの積極的なディフェンスが見られず、東香里は④⑨のシュートで着実に得点するが、中木田⑥のスティールからの速攻や、鮮やかなドライブが決まり、なかなか点数が開かず、中木田も粘りを見せる。そんな中、苦しくなっても東香里⑨が着実に点を重ねる働きを見せ、32-27で終える。

第4PD

東香里(白)④⑦⑧⑨⑩、中木田(黒)⑤⑥⑦⑧⑨でスタート。

⑦のシュートでまた追い上げを見せるが、東香里もすぐさま④⑨の連続得点で中木田はたまたタイムアウトをとるが、その後も東香里のディフェンスの前に攻め手をかく。結局サイズで勝る東香里が要所でインサイドプレーで点数を重ね、さらにプレスで最後まで粘る。中木田に攻撃をさせない東香里が51-35で破り、初戦をものにした。

(戦評/寝屋川第10中:田辺)

戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 春季大会

26年 4月29日 時刻11:10

女子 【決勝リーグ】

招堤北	49	[13-6 12-8 10-11 14-13]	38	長尾西
-----	----	------------------------------------	----	-----

第1PD

招堤北(白)④⑤⑥⑦⑧、長尾西(赤)④⑤⑥⑦⑧でスタート。

最初はなかなか得点が入らない中、招堤北⑤のシュートで始まる。招堤北の得点が重なる中、長尾西は⑥のスリーポイントが入る。お互いミスの少ない攻防が繰り返される。招堤北④のスティールから、最後はブザービートで得点。13-6で招堤北がリードして終わる。

第2PD

招堤北(白)④⑤⑥⑦⑫、長尾西(赤)④⑤⑥⑦⑧でスタート。

招堤北は、第1PDから2-3ゾーンディフェンス。招堤北⑤のバスケットカウントなどで点数差を広げる。残り4分50秒で長尾西タイムアウト。その後も得点がとれず残り2分、2回目のタイムアウト。長尾西⑥のミドルシュートで追いあげるが、最後はミスから招堤北⑧に決められ25-14招堤北リードで前半終了。

第3PD

招堤北(白)④⑥⑦⑧⑫、長尾西(赤)④⑤⑥⑦⑧でスタート。

招堤北2-3のゾーンディフェンス。長尾西オールコートマンツーマンでスタート。長尾西が徐々に点数差を広げ、15点差で長尾西のタイムアウト。その後、招堤北⑦④のシュートが決まり、10点差までつめる。招堤北は⑥がリバウンドからシュートを決めて35-25招堤北リードで終了。

第4PD

招堤北(白)④⑤⑥⑧⑫、長尾西(赤)④⑤⑥⑦⑧でスタート。

招堤北はリバウンドからシュートを確実に決めてリードを広げる。長尾西は残り3分55秒3回目のタイムアウト。長尾西⑦の連続得点が決まり、たまたま招堤北もタイムアウト。その後も長尾西は3Pシュートなどで粘るが、得点差が縮まらない。最後は招堤北が冷静にゲームを進めて49-38で招堤北の勝利となった。

(戦評/守口第4中:山口)

戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 春季大会

26年 4月29日 時刻12:50

男子 【決勝リーグ】

枚方4	70	[11-13 20-6 16-14 23-14]	47	東香里
-----	----	-------------------------------------	----	-----

第1PD

枚方4(白)④⑤⑥⑦⑧、東香里(黒)④⑤⑧⑨⑩でスタート。

ディフェンスはお互いハーフマンツー。ディフェンスが厳しく、ミスが多く、流れに乗れない。枚方4⑦の

1対1、東香里⑧の3Pや1対1で攻める。11-13で東香里2点リードで第1PD終了。

第2PD

枚方4(白)④⑤⑥⑦⑩、東香里(黒)④⑤⑧⑨⑩でスタート。

枚方4⑦のスティールからの速攻や1対1で逆転し、リードを広げる。

対する長尾西も⑧のドライブやミドルで応援するもパスミスが多く、追いつけない。

31-19の枚方4で前半を終える。

第3PD

枚方4(白)④⑤⑥⑦⑩、東香里(黒)④⑤⑧⑨⑩でスタート。

枚方4は前半同様、⑦の1対1や、そこからの⑤⑨の合わせで得点を重ねる。

東香里は泥くさく、ルーズボールやリバウンドをがんばり、必死で食らいつく。

47-33の14点差で最終PDへ。

第4PD

枚方4(白)④⑤⑥⑦⑧、東香里(黒)④⑤⑧⑨⑩でスタート。

東香里は⑤のミドルや⑧⑨のドライブで攻め、ディフェンスも厳しく当たるが、枚方4は落ち着いて

対応。最終スコアは70-47で枚方4の勝利。お互いに気迫あふれる決勝リーグ1試合目となった。

(戦評/寝屋川中木田中:日高)

戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 春季大会

26年 4月29日 時刻14:30

男子 【決勝リーグ】

八雲	39	[6-16 10-15 13-16 10-15]	62	庭窪
----	----	---	---------------------------------	---	----	----

第1PD

八雲(白)④⑤⑥⑦⑨、庭窪(黒)④⑤⑦⑧⑨でスタート。両チーム激しいプレッシャーの

ハーフコートマンツーマンDF。庭窪⑦のアウトサイドシュートと速攻で得点を取り、流れをつかむ。

八雲も⑦の1対1で反撃ののろしを上げる。しかし八雲はOFのリズムをつかむことができず、OFのミスから、

庭窪④のミドルシュート、⑤の3Pが決まり、庭窪ペースで1Q 6-16 で10点のリードを広げる。

第2PD

八雲(白)④⑤⑥⑦⑨、庭窪(黒)④⑤⑦⑧⑨でスタート。八雲、庭窪両チーム

ハーフコートマンツーマンDF。庭窪は④⑦のミドルシュートで流れにのる。八雲は交代で入った

⑩のインサイドプレーを止めることができず、⑤のリバウンドシュートや⑦の3Pで

16-31 庭久保リードで前半が終わる。

第3PD

八雲(白)④⑤⑥⑦⑧、庭窪(黒)④⑤⑦⑧⑨でスタート。八雲はハーフコートマンDF、

庭窪は2-3ゾーン。八雲④がインサイドで得点を取り、⑦の3Pや⑤の積極的なリバウンドで

一時ペースをつかみ、点差が11点まで縮まる。すかさず庭窪が2-2-1のゾーンプレスで

プレッシャーをかけ、速攻で得点を取り、流れをつかみ、29-47 で3Q終了。

第4PD

八雲(白)④⑤⑥⑦⑧、庭窪(黒)④⑤⑦⑧⑨でスタート。八雲はハーフコートマンDF、

庭窪は2-2-1のゾーンプレス。八雲は④⑩のインサイドプレーで得点するが、庭窪ペースが

かわることなく、終わってみれば、39-62 の大差がついたゲームとなった。勝負のポイントとなったのは、

八雲が最後までOFのリズムがかみ合わなかったことと、庭窪の献身的なDFが挙げられる。

(戦評/錦中:井本)

戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 春季大会

26年 5月 3日

女子 【決勝リーグ】

東香里	71	{	19-12 18- 8 15- 9 19- 8	}	37	長尾西
-----	----	---	----------------------------------	---	----	-----

第1PD

東香里(白)④⑤⑦⑧⑨ 長尾西(赤)④⑤⑥⑦⑧ 両チームともハーフマンツースで

スタート、白は中一外でポイントを作り、1on1を仕掛け、またオフェンスリバウンドも頑張り得点につなげる。

赤はパスをしっかりとまわし、自分たちのリズムでシュートを放ち、得点する。19-12と白のリードで終了。

第2PD

白④⑤⑥⑧⑩ 赤④⑤⑥⑦⑧

白はDefを頑張り、このPDの主導権を握る。白は⑤のドライブ、⑧のポストプレイなどで点差を広げ、13点差

を付けられたところでタイムアウト。その後赤は⑤④の3P、⑦のミドルシュートを決め、持ち直すが、白は⑩

や交替で出てきた⑨の活躍により、37-20で前半を終える。

第3PD

白④⑤⑦⑧⑨ 赤④⑤⑥⑦⑧でスタート

白は⑧がゴール下を支配。オフェンスリバウンドからの2ndショットを確実に決め、それを守ろうとする赤の

ファールがかさむ。その後も白は⑦の3P、⑧のゴール下のシュートで得点差を広げる。赤は⑥⑦の3Pや

ドライブで何とか得点差を縮めようとするが、52-29で白がリードを広げて、このPDを終える。

第4PD

白⑤⑦⑧⑨⑪ 青⑤⑥⑦⑧⑨でスタート

赤はパッシングから⑦が果敢にドライブを仕掛けるが、白のゴール下の守りをなかなか崩せない。それに

対し、白は⑧のポストプレイ、速攻から⑤のジャンプショットで得点差をさらに広げる。71-37で東香里が

勝利した。

(文責:山田中 大沼)

戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 春季大会

26年 5月 3日

女子 【決勝リーグ】

中木田	42	$\left[\begin{array}{l} 7 - 6 \\ 10 - 6 \\ 11 - 14 \\ 14 - 12 \end{array} \right]$	38	招提北
-----	----	---	----	-----

第1PD

中木田(白)④⑤⑥⑦⑧ 招提北(黒)④⑤⑥⑦⑧でスタート。両チーム、マンツーマン

ディフェンスでスタート。開始早々、招提北⑤のファール、硬さが目立つが招提北⑦、外からのシュートで点を取る。その後、どちらも、シュートを決めることができない時間が続く。ディフェンスにおいても、どちらも間合いを詰め、粘りを見せるが、得点につなげることができず、7-6で終了。

第2PD

中木田⑤⑥⑦⑧⑨ 招提北④⑤⑥⑦⑫でスタート。招提北のゾーンに対し、中木田⑧

外からのシュートで確実に決める。マンツーマンに戻した招提北のディフェンスに⑨外からのドライブで得点を決める。外からの1on1を積極的に仕掛け、中木田は、リズムをつかみ、ディフェンスにおいても、さらに粘りを見せ、そのディフェンスに招提北は苦しむ。外からのシュートや、1on1を行うが、得点につながらず、中木田リードで終了する。

第3PD

中木田④⑤⑥⑦⑧ 招提北④⑤⑥⑦⑧でスタート。両チーム、マンツーマンディフェンス。

招提北⑤のポストプレイで得点を重ね、追い上げ17-16とせまる。さらに⑥の外からのドライブや④のドライブからのあわせで得点を重ねていくが、リバウンドに中木田は粘りを見せ、ゴール下で得点を重ね、逆転を許さない。両チームともファールが目立つようになり、28-26で終了。

第4PD

中木田④⑤⑥⑦⑧ 招提北④⑤⑥⑦⑧でスタート。招提北のゾーンに外からシュートを

放つが決まらず、オールコートマンツーマンのディフェンスを突破され、ついに28-33と逆転する。中木田は前からのディフェンスを粘り続け、さらに⑦が3Pを決め、簡単には逆転させない。⑥の外のシュートカットから速攻と続き、38-36。たまた、招提北はタイムアウトの後、3Pやゴール下を決めるが、焦りが見え、追いつくことができず、中木田が42-38と逃げ切って勝利を収めた。

(文責:枚方一中 藤本)

戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 春季大会

26年 5月 3日

女子 【決勝リーグ】

招提北	32	{	6 - 15 8 - 10 10 - 10 8 - 11	}	46	東香里
-----	----	---	---------------------------------------	---	----	-----

第1PD

招提北(白)④⑤⑥⑦⑧ 東香里(黒)④⑤⑦⑧⑨でスタート。

両チーム、お互いにハーフマンツーマンDefでスタート。出だし、白④のシュートで先制。しかしすぐに⑧が入れ返し、さらに⑦の速攻、⑩のミドルなどで得点を重ねる。白はシュートまでいくものの、なかなか決めきれず、6-15で1PD終了。

第2PD

白④⑤⑥⑦⑧ 黒④⑤⑦⑧⑩

白は1-3-1のハーフゾーンに変える。クロは相手のゾーンに対し、出だしうまくスペースを作って得点するが、その後なかなか外からのシュートが決まらず、得点が伸びない。白はハーフゾーンで相手のミスを誘い、パスカットから速い攻撃で、相手のファールを誘う。白④のバスカンなどもあり14-25で後半戦へ。

第3PD

白④⑤⑥⑦⑫ 黒④⑤⑦⑧⑨でスタート

お互い堅いDefでスタートし、得点が動かない。試合が動いたのは残分5での黒⑧のシュート。しかしすぐに⑤も入れ返す。白④の3Pや、④のドライブから⑤へのあわせなどで白は喰らいつき24-35で終了。

第4PD

白④⑤⑥⑦⑧ ④⑤⑦⑧⑨でスタート。

開始すぐに、黒は2本連続で得点をあげる。黒は⑧のミドルや⑧1on1でさらに加点し、白はなかなか止められない。その後、白は④が攻守にわたり、活躍するものの力及ばず、32-46で終了。

両チームとも、最後まであきらめない気持ちのこもった素晴らしい試合であった。

(文責:杉中 京塚)

戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 春季大会

26年 5月 3日

女子 【決勝リーグ】

長尾西	44	$\left[\begin{array}{r} 6 - 12 \\ 17 - 10 \\ 9 - 12 \\ 11 - 9 \end{array} \right]$	47	中木田	
		延長	1 - 4		

第1PD

長尾西(白)④⑤⑥⑦⑧ 中木田(黒)④⑤⑥⑦⑧でスタート。両チームとも、今日2試合

目ということもあり、スローな展開でゲームが始まる。そんな中、黒は⑦⑧のシュート、⑤のバスケットカウントで試合を優位に進める。対する白はDefで仕掛けて、早い展開を試みるが、思うようにシュートが決まらず、逆に黒⑥のブザービートが決まり、6-12で終了。

第2PD

白④⑤⑥⑦⑧ 黒⑤⑥⑦⑧⑨で開始。開始直後、白⑦のベースライン側への力強いド

ライブが決まり、リズムが出だし、白⑥や、④の3P、ルーズボールまでもが、長尾西にこぼれだす。対する中木田は、下級生主体ということもあり、疲労感が見える中黒⑦が難しいシュートを決め、ゲームをつないでいくが、白④のミドルシュートが決まり、前半23-22と白がリードして折り返す。

第3PD

白④⑤⑥⑦⑧ 黒④⑤⑥⑦⑧でスタート。両チームとも、足が動かなくなり、ターンオー

バーが目立つようになる。どちらとも苦しい展開となるが、白は⑥のこのPDだけで10点を取る活躍や、黒は⑧⑥のシュートが決まり、一進一退の攻防が続く。終了間際には黒⑨のブザービートが決まり、32-34と黒が逆転しPDを終える。

第4PD & 延長

白④⑤⑥⑦⑧ 黒⑤⑥⑦⑧⑨でスタート。スローな展開で、開始と思われたが、黒⑥の

スティールからの速攻や⑦の3Pシュートが決まり、白はタイムアウト。その直後黒はオールコートでプレスを仕掛け、ディフェンスリバウンドを確実に取り、8点差となる。その後、黒がシュートを決めれず、白⑥が3P、バスカンなどが決まり、延長に突入。両チームとも、Defの粘りを見せ、白⑧がカットするも、速攻を外す。黒⑦がポストからのリターンパスで、外からのシュートを確実に決め、2点リードする。白タイムアウト後、白⑦がスティールするも決まらず。しかし、黒のファールで、フリースローのチャンスを生かせず、逆転できないまま44-47で試合終了。

(文責:寝屋川十中 田辺)

戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 春季大会

26年 5月 3日 時刻11:20

男子【決勝リーグ】

枚方四	52	{	10-2 13-11 18-3 11-19	}	35	八雲
-----	----	---	--------------------------------	---	----	----

第1PD

枚方四④⑤⑥⑦⑧、八雲④⑤⑥⑨⑩でスタート。序盤どちらもシュートが決まらず、

波に乗れない時間帯が続いたが、枚方四④⑧のねばり強いDefから速攻が決まり、八雲はたまたま

タイムアウト。その後は再びどちらも決め手を欠き、10-2の枚方四リードで第1PDを終える。

第2PD

第1PDと同じメンバーでスタート。

開始直後、枚方四の速攻がつづけて決まり流れがくる。枚方四⑥にボールを集め得点を重ねていく。

八雲は⑨のジャンプシュートや④⑩のリバウンドシュートで応戦。どちらも流れが傾きかけた時に

シュートが決まらず波に乗り切れないまま第2PDは13-11の一進一退で終える。

前半終えて23-13枚方四リード。

第3PD

第1PDと同じメンバーでスタート。八雲はハイロープレーで中を攻めようとするが、

枚方四の堅守に阻まれなかなかシュートが決まらない。一方、枚方四はDefからの速攻に

加え、⑦のドライブ、3Pが決まりだし流れを引き寄せる。第3PDのスコアは18-3となり、

枚方四が大きくリードを広げる。

第4PD

枚方四④⑤⑥⑦⑩、八雲は同じメンバーでスタート。

第3PDの勢いは止まらず枚方四⑦のドライブ、④の3Pなどでリードを広げる。残分4で⑥⑦を

下げた後もDefをがんばりリードを守る。八雲は⑨の個人技④⑩のハイロープレーが決まりだし

得点を重ねる。このPDだけでも19点を重ねるも追いつかず52-35で枚方四が勝利。

枚方四は得点せずとも④⑧⑩のDefやルーズボールも、チームの勝利のために大きく寄与し

ボールのないところのがんばりの大切さが見えた試合だった。(戦評/長尾西中:山元)

戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 春季大会

26年 5月 3日 時刻11:20

男子【決勝リーグ】

東香里	42	{	9-10 9-18 7-24 17-16	}	68	庭窪
-----	----	---	-------------------------------	---	----	----

第1PD

東香里④⑧⑨⑩⑪、庭窪④⑤⑦⑧⑨でスタート。

両チームハーフコートマンツーマンDef。両チーム積極的に1on1をしかける。庭窪は④⑦中心に

得点を重ね、東香里は④のスピードのあるドライブからあわせたり、オフェンスリバウンドでねばり、

得点を重ねる。両チームともやられたらやりかえすのくり返しで9-10と庭窪リードで1PD終了。

第2PD

東香里④⑥⑧⑨⑩、庭窪④⑤⑦⑧⑩でスタート。

東香里⑧⑨の3Pが決まる。すかさず庭窪も④の3Pや1on1からのジャンプシュートが

決まる。その後も庭窪は自分たちのペースで得点を重ねる。東香里はドライブからバスカン

とるがターンオーバーが続き、リズムがつかめず、得点につながらない。しかしDefでは

あきらめずリバウンドやルーズボールにくらいついていく。18-28、庭窪リードで終了。

第3PD

東香里④⑧⑨⑩⑪、庭窪④⑤⑦⑨⑩でスタート。

高さのある庭窪がオフェンスリバウンドからのシュートを確実に決めさらにディフェンス

リバウンドでも取りきる。④のドライブやリバウンドからのゴール下シュートが次々と決まり

点差を広げる。一方、東香里は外からのシュートも決まらずリバウンドが取れず苦しい

展開になっていく。庭窪ペースとなり25-52で3PDが終了。

第4PD

東香里④⑦⑧⑨⑪、庭窪④⑤⑥⑧⑩でスタート。

東香里④の積極的なカットインが目立つがシュートを決めきることができない。一方

庭窪は④を中心にしたプレースタイルのまま確実に得点を重ねていく。また⑪⑬の

3Pも決まる。東香里は前からプレッシャーをかけオールコートマンツーマンDefで応戦するも

点差を縮めることができず、42-68で試合終了。

(戦評/枚方第一中:藤本)

戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 春季大会

26年 5月 3日 時刻14:30

男子【決勝リーグ】

庭窪	48	{	5-24 22-19 10-22 11-30	}	95	枚方四
----	----	---	---------------------------------	---	----	-----

第1PD

庭窪④⑤⑦⑧⑨、枚方四④⑤⑥⑦⑧、両チームマンツーマンDefでスタート。

枚方四⑥の1on1を皮切りに⑦⑧が得点を重ねる。一方庭窪は④⑦の1on1で切り崩そうと

するが、思うように決まらず、4分経過して0-11でたまたま庭窪がタイムアウト。タイムアウト後

も枚方四は⑦の1on1を中心に得点。庭窪はドライブからファウルをもらいフリースローで得点

していくも5-24で1PD終了。

第2PD

庭窪④⑦⑧⑨⑩、枚方四④⑤⑥⑦⑩でスタート。

枚方四は2PDに入っても⑥⑦の1on1で得点をつみ重ねる。庭窪はなかなかオフェンスの

リズムがつかめず3分経過した時点でタイムアウト。タイムアウト後は庭窪はゾーンDefに

きりかえ、ペースをつかみ④⑦の1on1で得点。枚方四はファウルが重なりフリースロー

での得点を許す。庭窪が点差をわずかに縮め27-43で前半終了。

第3PD

庭窪④⑦⑧⑨⑩、枚方四⑤⑥⑦⑧⑩でスタート。

枚方四⑦の3Pでスタート。3PDを通して枚方四は速い攻めで庭窪を圧倒。庭窪は④⑦の

1on1からのあわせで何とかくらいつこうとするが、点差はさらに開く一方。37-65で

3PDを終える。

第4PD

庭窪④⑤⑦⑧⑩、枚方四⑤⑥⑦⑧⑩でスタート。

第4PDに入っても枚方四のオフェンスの勢いは止まらず⑦の3P、1on1からの⑥への

あわせ、⑥のリバウンドシュートなど多彩な攻めをくりひろげる。終わってみれば48-95、

47点差で圧倒的な力を見せ付けた枚方四が春季大会優勝を飾った。

(戦評/山田中:大沼)

戦評用紙

平成 26 年度

北河内地区 春季大会

26年 5月 3日 時刻14:30

男子【決勝リーグ】

八雲	39	$\left[\begin{array}{r} 12-6 \\ 9-5 \\ 7-20 \\ 11-8 \\ 0-9 \end{array} \right]$	48	東香里
----	----	--	----	-----

第1PD

ジャンプボール、先にボールを保持したのは東香里。すぐさま

⑧のドライブで先制点。八雲はその後すぐに④のローポストでパワープレー、2-2の同点にする。

ここから八雲④⑥が立て続けにシュートを決める。東香里も④のパスカットから速攻で取り返すが

八雲④⑥⑪が決めて12-6と八雲6点リードで1PD終える。

第2PD

立ち上がり、両チームともリズムにのれず得点の取れない時間が続く。

東香里パスカットから速攻を決めるも八雲は④のリバウンドシュート、⑨のドライブから④にあわせ

16-8と点差を広げる。ここでたまたま東香里タイムアウト。しかし八雲⑤⑨が得点を重ね

21-11、八雲リードで前半終了。

第3PD

立ち上がりから、東香里⑦のドライブをきっかけに⑧⑩のパスカットからの

速攻、④のトリッキーなシュートを決め22-19の3点差までつめよったところで八雲が

タイムアウト。タイムアウト後、八雲⑪がDefをふきとばすほどパワフルなプレーをしチームが

盛り上がる。しかし八雲④がオフェンスファウルで4ファウルになり交代。東香里は⑧の

ドライブがたて続けに決まり、3PD終了。

第4PD、延長

立ち上がり両チーム、リズムに乗れず得点が取れない。八雲は⑨のシュート

から流れができれば始める。東香里は⑦の3Pで一点差とするがすぐさま八雲は④のローポスト

でシュートを決めるも東香里が追い上げ、⑧のドライブで逆転する。八雲は終了間際、④が

フリースローを1本決め同点としそのまま延長戦となる。

延長立ち上がり東香里は⑧⑪が得点を決め4点リード。八雲は④⑤がオフェンスファウルで5Fになり

退場し、八雲は厳しい展開で得点が取れず東香里が得点を重ね39-48で勝利。(戦評/サダ中:植田)